

# TORAIZ

## TORAIZ SQUID ファームウェア - 変更履歴

### Ver.1.12 (2019年7月9日更新)

#### [修正]

- ✓ 軽微な不具合を修正しました。

### Ver.1.11 (2019年6月4日更新)

#### [修正]

- ✓ トラックの出力先が CV/GATE1、または CV/GATE2 のとき、アルペジエーターが正常に動作しない問題を修正しました。
- ✓ トラック設定項目の Mono/Poly の設定が Mono のとき、アルペジエーターが正常に動作しない問題を修正しました。
- ✓ グローバル設定項目の Out Sync Mode の設定が 2ppqn のとき、接続している機材によっては正常に動作しない問題を修正しました。
- ✓ その他軽微な不具合を修正しました。

### Ver.1.10 (2019年4月24日更新)

#### [追加]

- ✓ SQUID 専用アプリケーションとの連携が可能になりました。
- ✓ プログラムチェンジとバンクセレクトの設定が可能になりました。
- ✓ トラック毎のディレイ設定が可能になりました。
- ✓ 外部 MIDI 機器を使用した個々のステップへのノート打ち込みが可能になりました。
- ✓ パターンセットの編集が可能になりました。
- ✓ MIDI IN 端子で受信した MIDI メッセージを USB 端子から出力することが可能になりました。

- ✓ 発音/消音のランダマイザーでは、2つの方式から選択可能になりました。
- ✓ ピッチ値のランダマイザーでは、2つの方式から選択可能になりました。

#### **[改善]**

- ✓ シーケンスを再生中、タイムワープモードに入ったとき、再生を継続するようにしました。
- ✓ コードモードのときの本体表示部への表示内容と操作方法を改善しました。
- ✓ Sync Source 設定によらず MIDI メッセージのスタート/ストップ/コンティニューを受信し、本機を操作できるようにしました。
- ✓ Sync Source 設定が Internal 以外でもナッジ操作が可能になりました。
- ✓ トラックごとの設定項目だったシーケンスの再生速度をパターンごとに設定できるようにしました。
- ✓ 外部 MIDI 機器からの記録仕様を改善しました。

#### **[修正]**

- ✓ DIN SYNC OUT、または CLOCK OUT 端子に接続した外部機器にリスタートが送信できない問題を修正しました。
- ✓ IN Sync Mode 設定が 1step と Gate のときの動作を修正しました。
- ✓ TR-808 などのレガシー機器と DIN SYNC で接続したときに同期が取れない問題を修正しました。